



## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)北4東1計画	階数	地上31F、地下1F
建設地	札幌市中央区北4条東1丁目1-1	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	754 人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2016年12月26日
敷地面積	2,324 m <sup>2</sup>	作成者	2017年1月4日
建築面積	1,240 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	18,384 m <sup>2</sup>	確認者	

「配慮シート」に  
外観パースを張り付けて下さい。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.2</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 3.2</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 3.9</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 3.2</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 2.4</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 3.2</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 3.3</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 3.2</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 3.0</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b> 札幌都心、商業地域の立地において、周辺環境との調和を目指した計画としている。</p>		<p><b>A 省エネルギー</b> 住宅性能、省エネルギー対策等級4の性能の確保</p>
<p><b>B 省資源等</b> リサイクル材の使用、有害物質の含まない材料の使用</p>	<p><b>C 緑化</b> 石狩街道沿いに、中高木を配置した植栽整備を行う</p>	<p><b>D 雪処理</b> 敷地内通路、駐車場にはロードヒーティングを敷設する</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される